



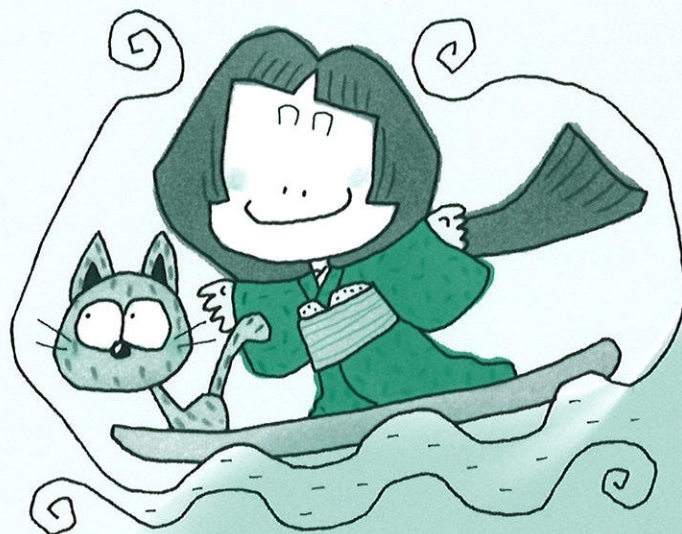
baby lock

糸取物語

wave

1本針3本糸

オーバーロック/巻きウェ〜ブロック



……ご使用のてびき……

お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

◆ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

◆保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY

▲ 警告

→ 感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



▲ 注意

→ 感電、火災、ケガの原因となります。



- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。



- ◆お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、安全に対し十分に注意を払ってください。



- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・高い場所 ・お子様の手の届く場所※ミシンの使用温度は0℃～40℃です。

- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。



- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・メスの交換をするとき
 - ・針糸やルーパー糸をセットするとき
 - ・針板を交換するとき
 - ・押え金を交換するとき
 - ・ランプの交換をするとき
 - ・針を交換するとき※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はいししないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき

- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類（メスカバー等）はすべて閉じてください。
- ◆ミシンを使用しない場合でも、少なくとも半年に1度、理想的には3ヶ月に1度くらいは作動させるようにしてください。1年以上作動させなかった場合は販売店にて点検されることをお勧めします。

目次

安全にご使用いただくために 1

目次 2

1 ご使用になる前に 3

2 各部の名称 4

3 縫うための準備 5

- アンテナのセット
- コントローラーのセット
- 糸のセット
(ベビーネットの使い方・駒受けの使い方)

4 試し縫い 7

- 縫い始め
- 縫い終わり
(「空環」の始末)

5 縫い目調節とメスの固定 9

- かがり幅の調節
- 送り目の調節
- メスの固定
- 押え圧力の調節

6 あこ〜でおん(差動) 11

7 押え金 12

- 押え金の取り付け方・取りはずし方
- バルキー押えの使い方

8 糸かけ 糸かけ全体図 13

- 糸かけの前に／糸かけが終わったら ... 14
- 下ルーパー糸 15
- 上ルーパー糸 16
- 針 糸 17
- 太い糸のかけ方 18

9 オーバーロック・巻きロックへの切換 19

- 1本針3本糸ロック
- 巻きロック(標準巻きロック／変形巻きロック)

10 巻きウェ〜ブロックへの切換 21

- 巻きウェ〜ブロック

11 メンテナンス 23

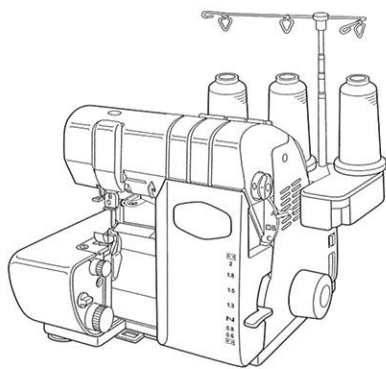
- ルーパースレッターの使い方
- 針の交換
- メスの交換
- 掃除と注油について
- 照明ライトの交換

12 修理を依頼される前に 25

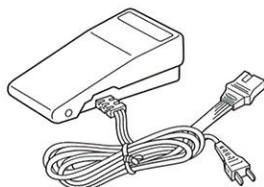
仕様 26

1 ご使用になる前に

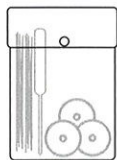
■下記のものが入っていることを必ずご確認ください。



ミシン本体



コントローラー



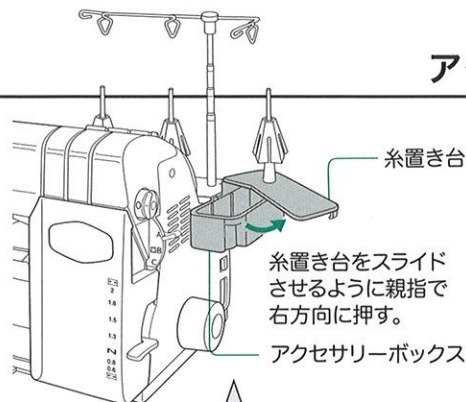
アクセサリケース

保証書

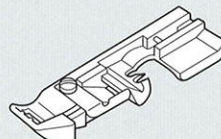


ご使用のてびき

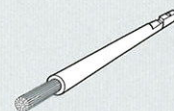
アクセサリボックス内



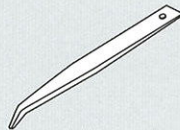
ドライバー (小)



バルキー押え
【P12参照】



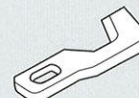
掃除用ブラシ
(針交換用具兼用)



ピンセット



針 (HAx1 SP #11)
【P23参照】



上メス
【P24参照】

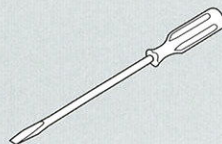
アクセサリケース内



ルーパーズレッダー
【P23参照】



駒受け (3個)
【P6参照】



ドライバー (大)



ベビーネット (3つ)
【P6参照】

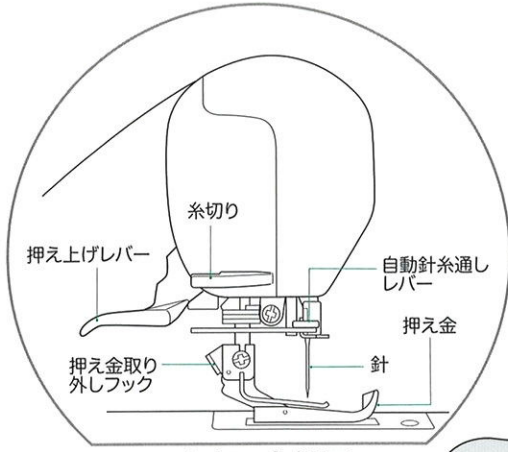


ミシンカバー

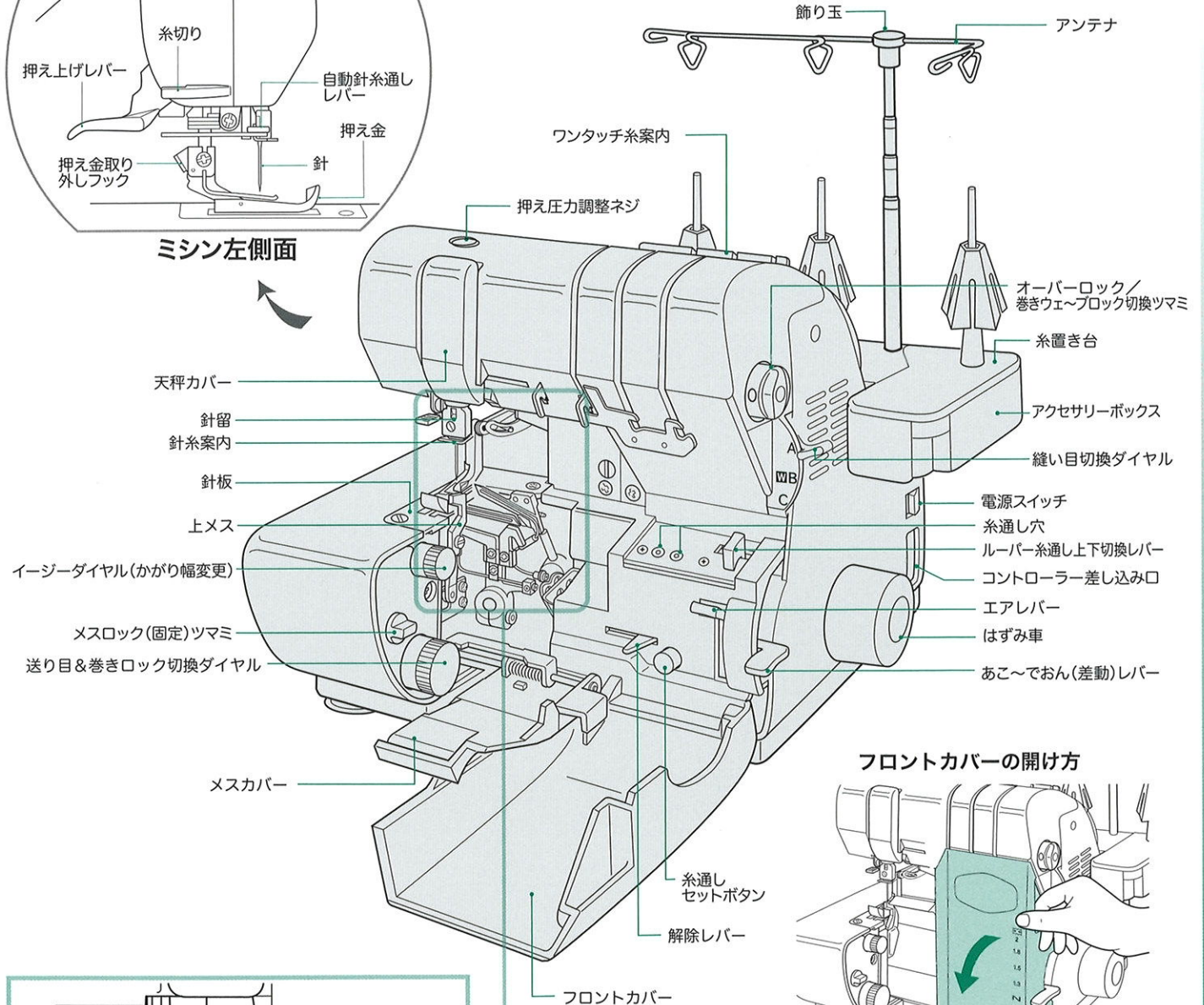
2 各部の名称



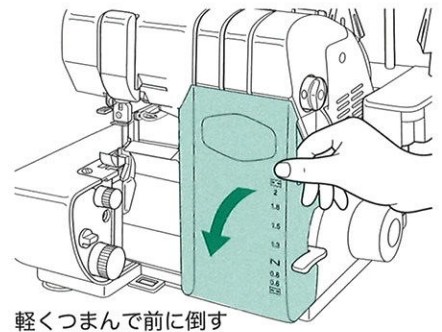
各部の名称



ミシン左側面

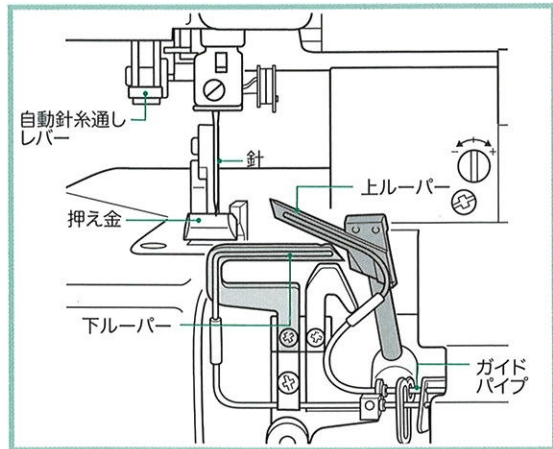
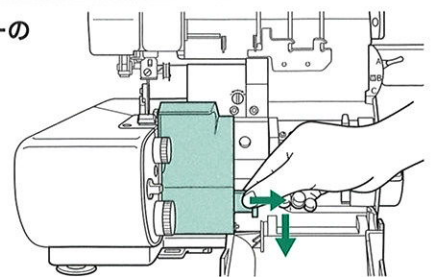


フロントカバーの開け方



メスカバーの開け方

▲注意
ケガをする恐れがあります。
縫うときは必ずカバーを閉めてください。



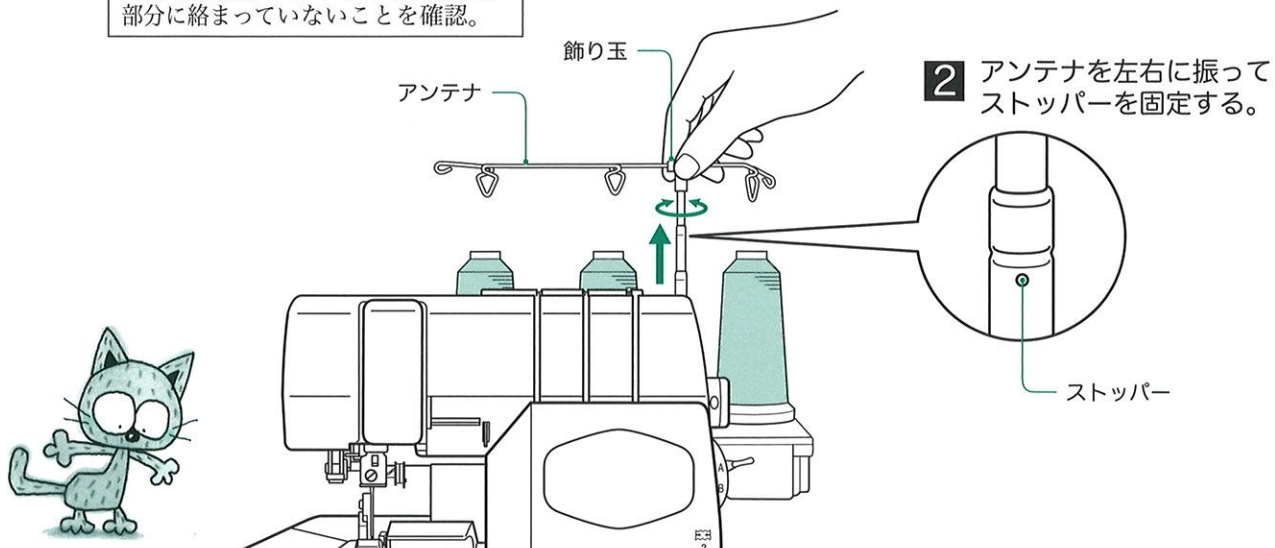
3 縫うための準備

アンテナのセット

1 飾り玉を持って真上に引き伸ばす。

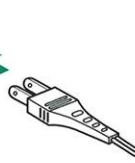
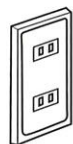
註 アンテナは必ず一番上まで引き伸ばしてください。

このとき糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認。

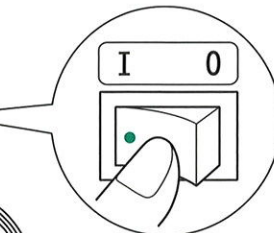
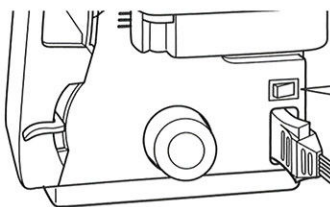


コントローラーのセット

1 コントローラーのプラグをミシン本体と家庭のコンセントに差し込む。

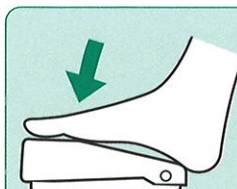


2 電源スイッチを [I] にすると通電状態となり、照明ライトがつく。



⚠ 火事の原因になります。
注意

- ◆ プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしないでください。
- ◆ コントローラーの上に物を乗せないでください。



スピードの調節

強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

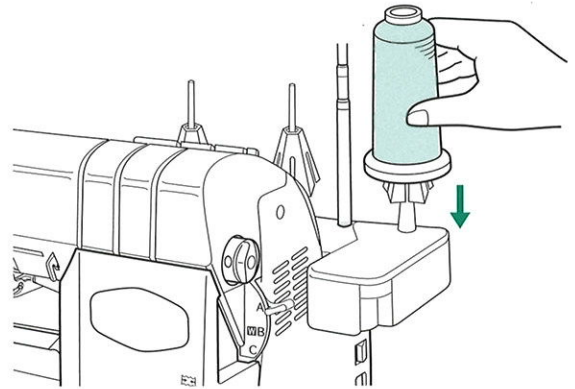


糸のセット

テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など市販されているほとんどの糸を使用することができます。

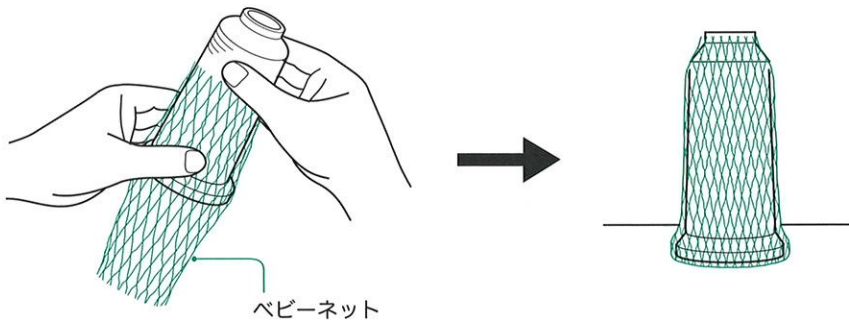
また巻きウェーブブロックで縫う場合は、上・下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

※古い糸や粗悪な糸を使用すると、糸切れや目飛び、糸調子の乱れの原因になりますので、使用しないでください。



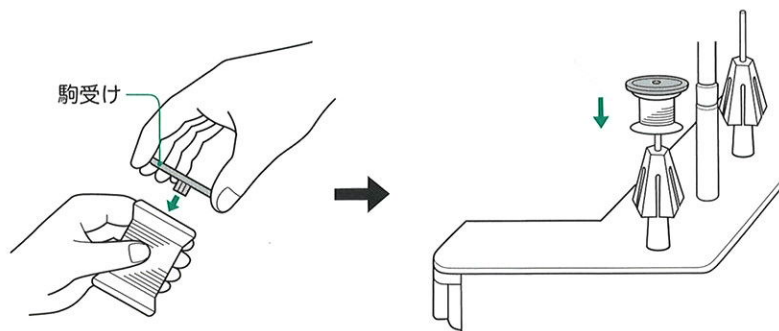
■ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸やウーリー糸、撚りの強い糸を使用する場合は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



■駒受けの使い方

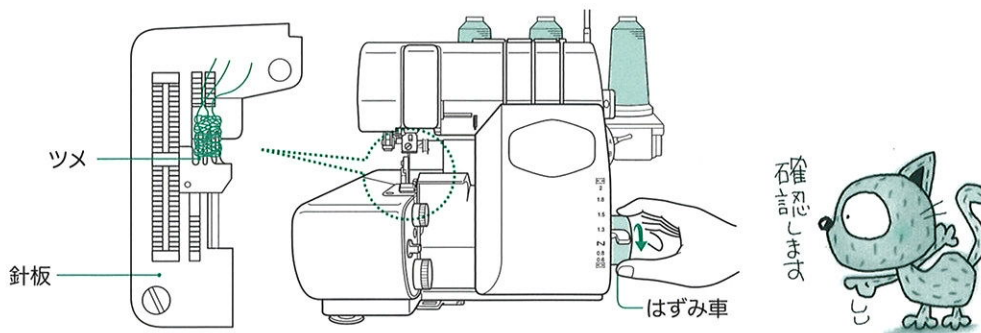
普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」をご使用ください。



4 試し縫い

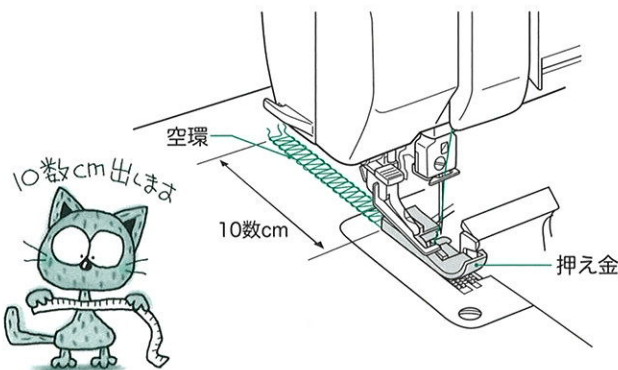
縫い始め

1 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認する。



2 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておく。

注意 ケガをする恐れがあります。
針・ルーバー・メスの動く範囲に、指や手を持っていかないで下さい。

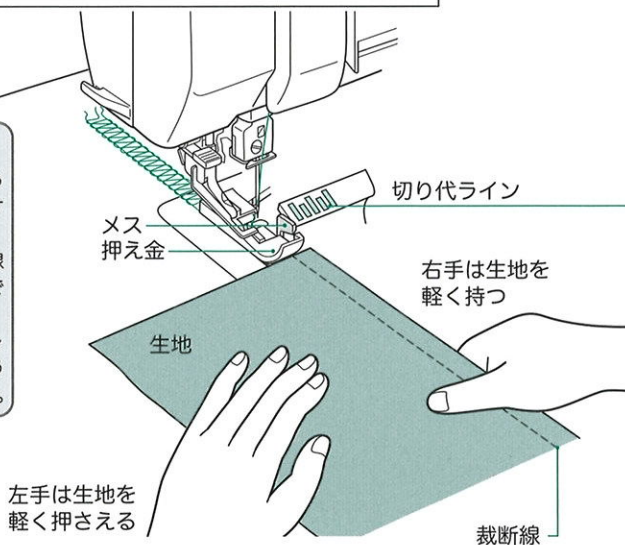


スピードの調節
強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

3 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

このとき押え金を上げる必要はありません。縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。

ワンポイント
バイヤスやカーブを縫うときは生地がはずれやすくなるため
① 針とメスの間が直線になるように生地を手で直線に補助する、
② あこ〜でおん(差動)レバーをNより上にして縫うとはずれにくくなります。



切り代ラインの使い方
切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。生地端を5の線に合わせると約5mm切り落とし、10の線に合わせると約10mm切り落とします。

針
上メス
下メス
生地
切り落とし量

5mm
7.5mm
10mm
12.5mm
15mm

5 10

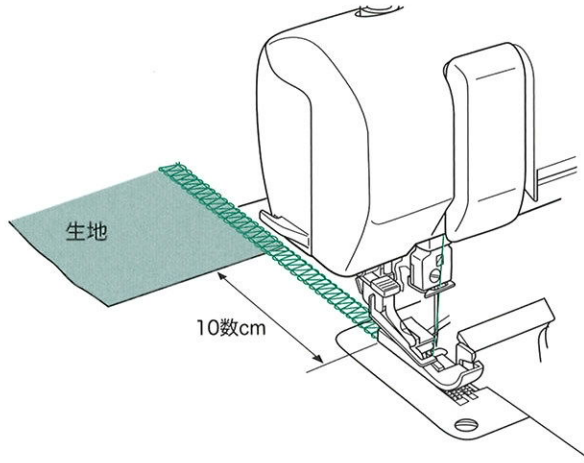
切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合は試し切りを行い、確認してから縫い始めてください。

4 コントローラーを踏んで縫い始める。

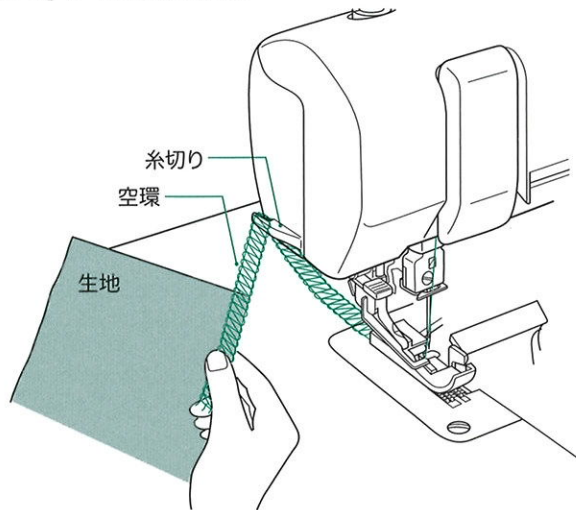


縫い終わり

1 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、「空環」を約10数cm出しておく。

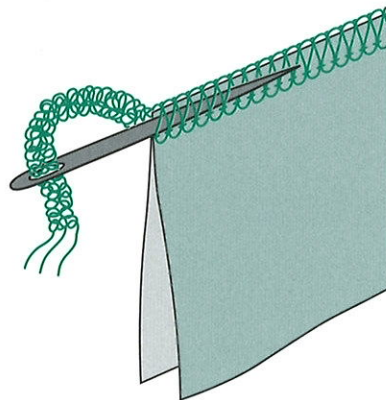


2 最後に「糸切り」で「空環」を切る。

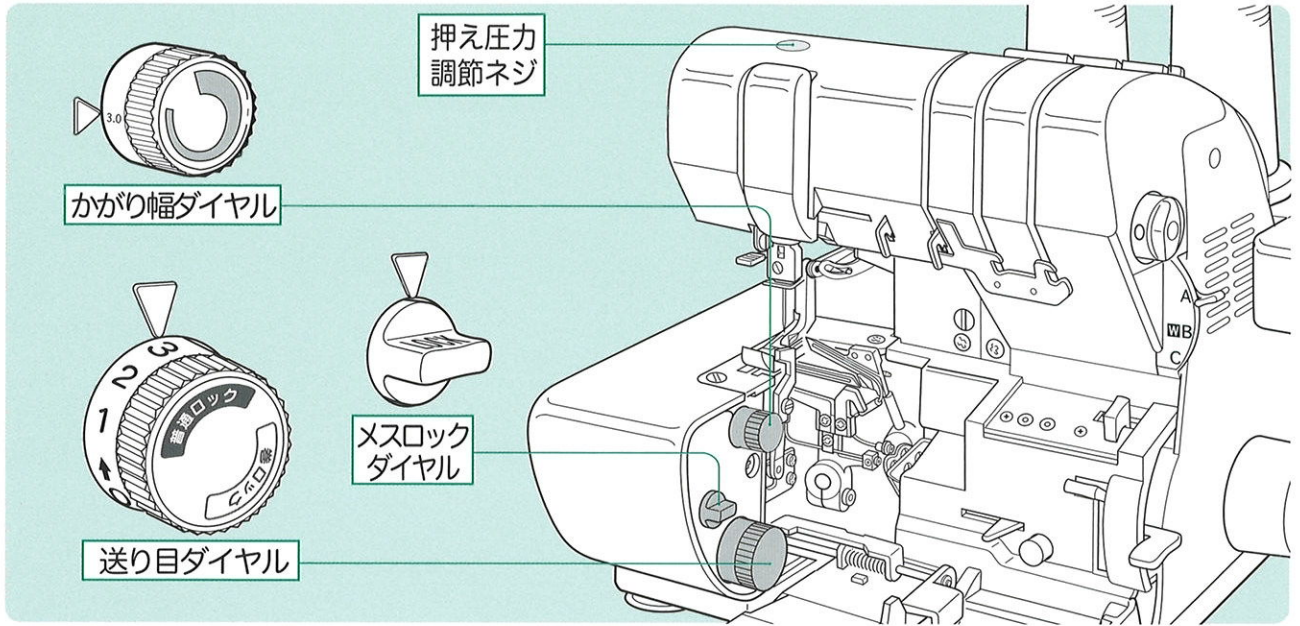


「空環」の始末

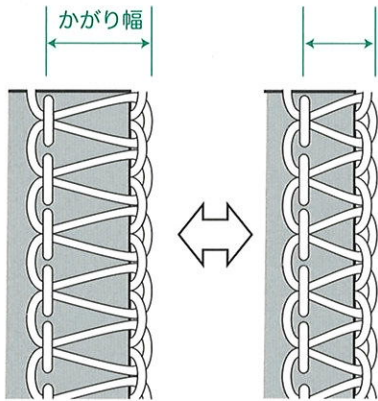
縫い終わった後、「空環」はとじ針で裏の縫い目に通しておきます。



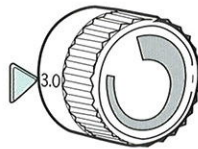
5 縫い目調節とメスの固定



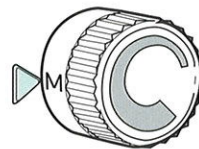
かがり幅の調節



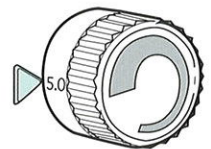
普通ロックは、3.0mm～5.0mmの範囲で調節できます。
 巻きロックは、基本的には標準値のMに合わせます。
 ※巻きウェーブロックの場合も同様です。



3.0mm幅

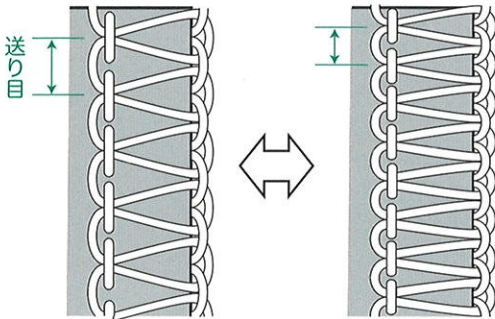


3.6mm幅



5.0mm幅

送り目の調節



普通ロック・巻きロックともに1～4mmの範囲で調節できます。



普通ロック



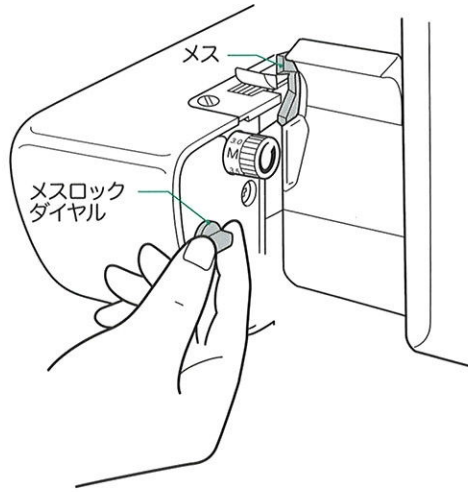
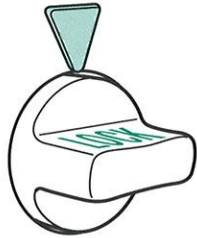
巻きロック

巻きウェーブロックの場合は、“一つの波”が25針で形成されているため、送り目を長くすればするほど、糸と糸の間が開いて見えます。



メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メスロックダイヤルを【LOCK】(固定)にしてください。メスが固定されて動かなくなります。

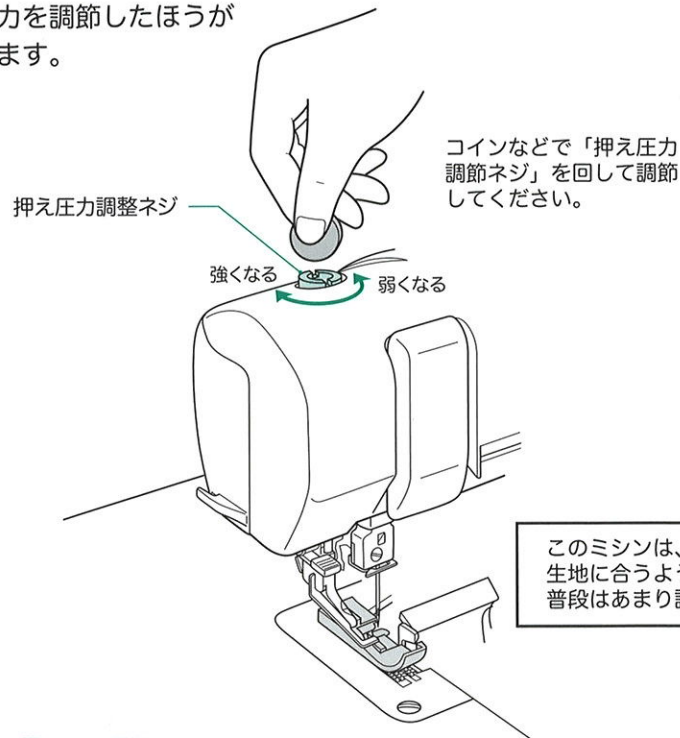


ワンポイント
固定されたメスは、そのまま布ガイドとして使用できます。



押え圧力の調節

滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調節したほうが縫いやすい場合があります。

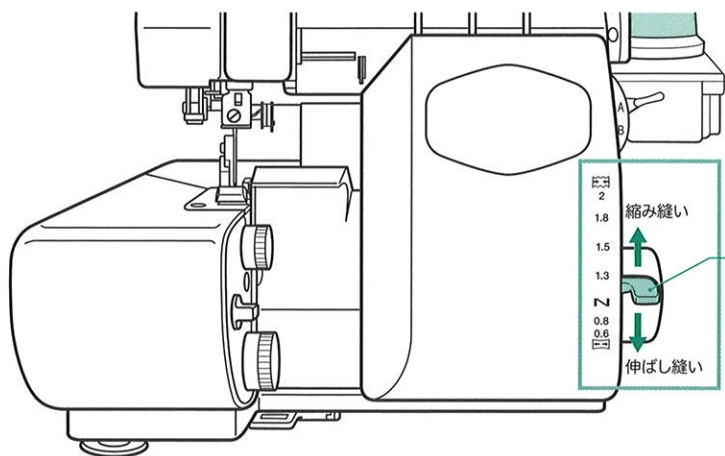


このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合うように調節されていますので、普段はあまり調節する必要はありません。



6 あこ〜でおん(差動)

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「あこ〜でおん(差動)レバー」を使うと、平にきれいに仕上げることができます。さらにギャザーを寄せたり、フレアスカートのヘムのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。



あこ〜でおんレバー



あこ〜でおん(差動)

 2 1.8 1.5 1.3 ↑	縮み縫い	袖山のギャザー寄せ、フレアスカートのヘムのいせ込み等 	ニット地、バイヤス部分等 	
N	通常縫い		伸びてしまう生地 	縮んでしまう生地
0.8 0.6 ↓	伸ばし縫い	スカートの裾やブラウスの衿のフリル等 		裏地の縁ががり、薄地の巻きロック等

さらに縮み量を大きくしたいときは、付属の「バルキー押え」をご使用ください。(P12参照)

7 押え金

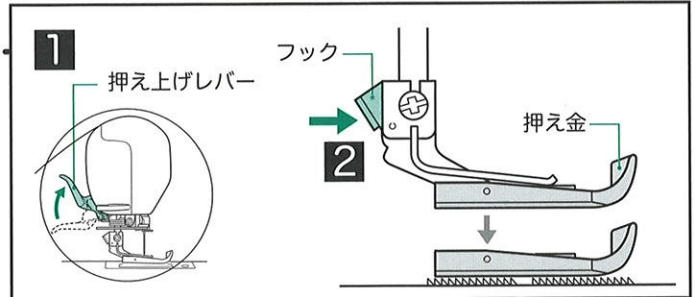


押え金の取り付け・取りはずし方

専用アタッチメント（各種押え金）を使用する場合の、押え金の取り付け・取りはずしは、下記の要領で行ってください。

【取りはずし方】

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 フックを押すと押え金はずれる。

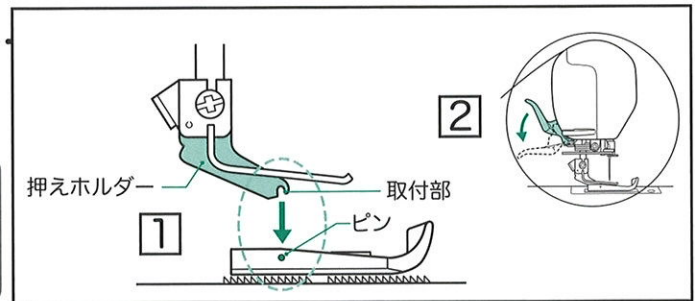


【取り付け方】

- 1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
- 2 押え上げレバーを下げる。

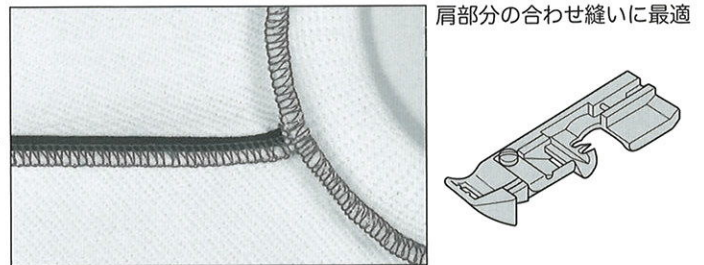


ワンポイント
押え金が入りにくい場合は、押え上げレバーをさげたままフックを押してください。

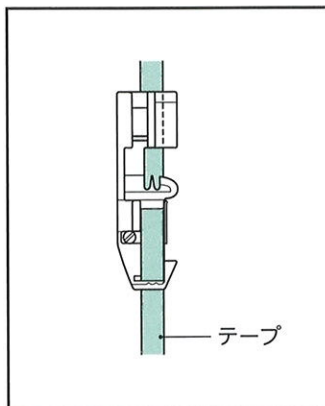


バルキー押えの使い方

「バルキー押え」は、
●あこ〜でおん（差動）を使って縮み縫いをするとき、より縮み量を多くしたり、
●右のように、縁かがりと同時に、伸び止めテープ（ウーリースピンテープ）や各種テープを入れることができます。テープの入れ方は下記の通り。



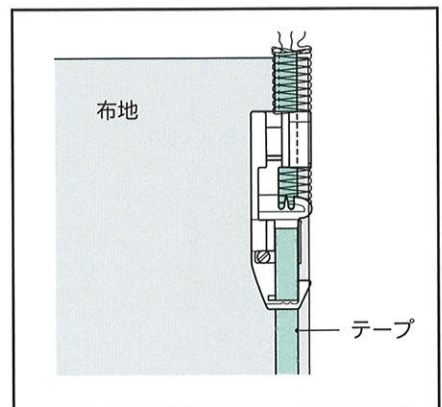
- 1 バルキー押えにテープを通しておく。



- 2 針を一番上に上げ、上記の押え金の【取り付け方】を参照にしてバルキー押えを取り付ける。

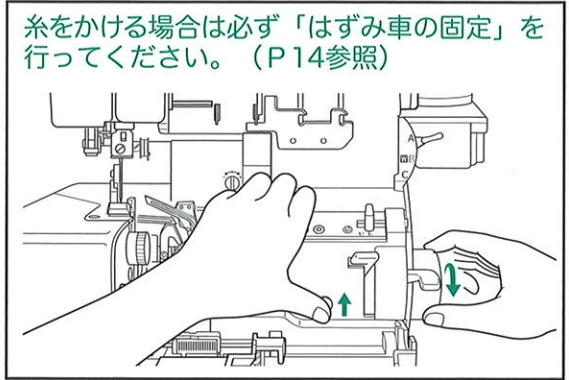


- 3 空縫いしてから、布地を入れて縫い始める。

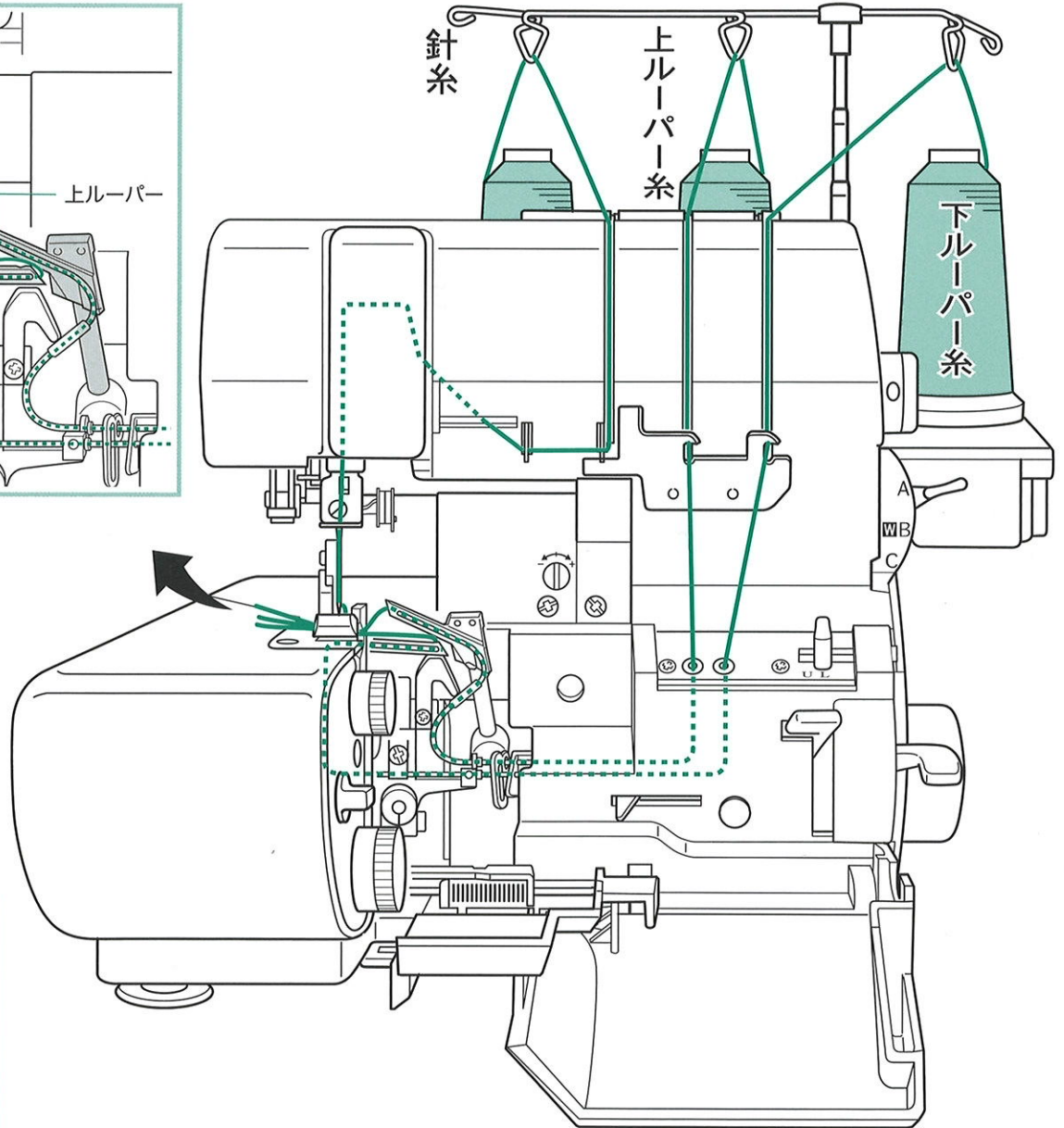
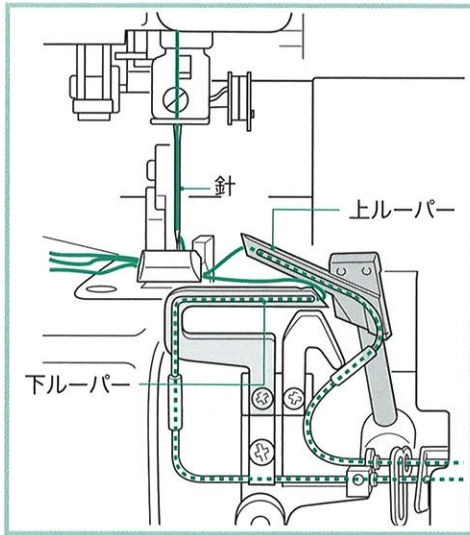


8 糸かけ

糸かけ全体図



オーバーロックも巻きウエーブロックも糸のかけ方は同じです。
どの糸からかけてもかまいません。
糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。



注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ルーパーの糸かけをするときはエアスルーシステム(自動エア糸通し)を使います。
エアスルーシステムは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。



また、糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

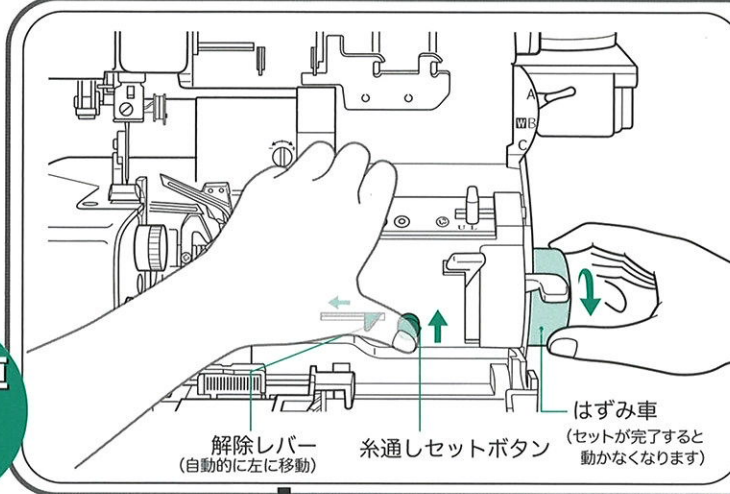
糸かけの前に

はずみ車の固定

1 押え上げレバーで
押え金を上げる。



2 糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまで、はずみ車を回す。



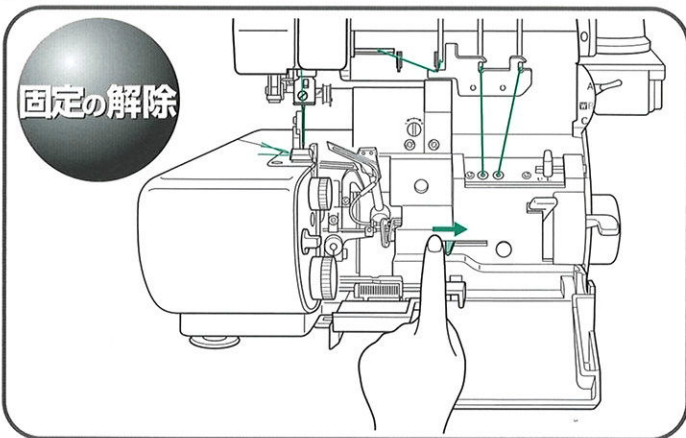
セットが完了すると、はずみ車が回らなくなり、解除レバーが左へ自動的に移動します。
移動しない場合は、もう一度糸通しセットボタンをもっと強く押しながらかみ車を回してください。

はずみ車の
固定

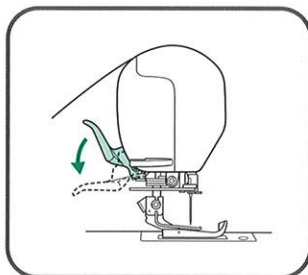
P 15・16にしたがって糸をかける

糸かけが終わったら

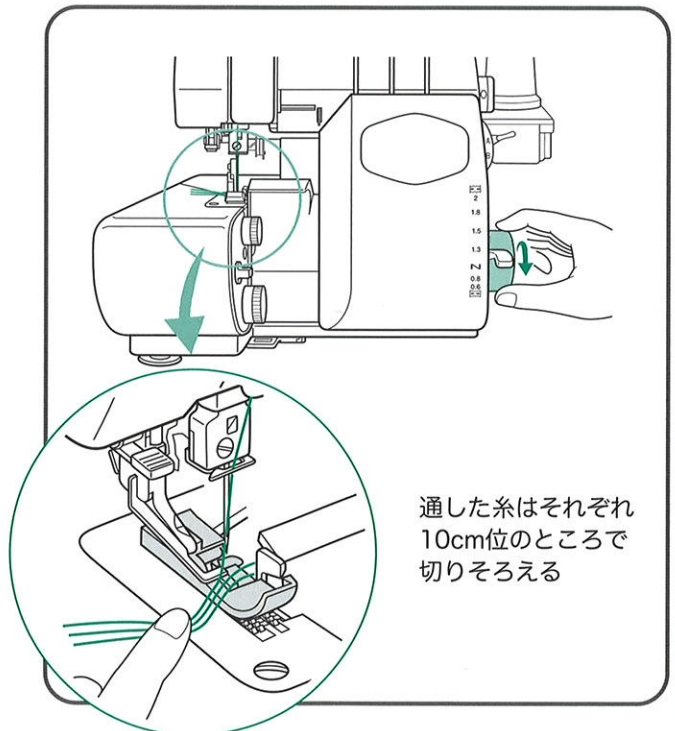
1 解除レバーを右にスライドさせる。



2 押え上げレバーで
押え金を下げる。

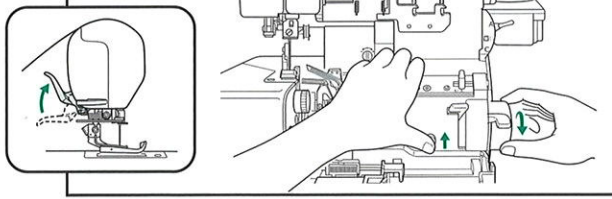


3 最後に3本の糸を軽く押え、はずみ車を数回
まわして、空環がうまくできるか確認する。



下ルーパー糸

1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P14参照) **重要**

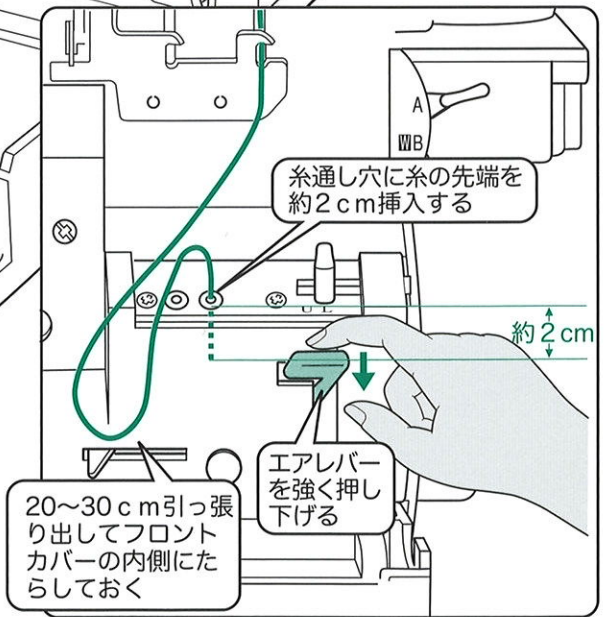
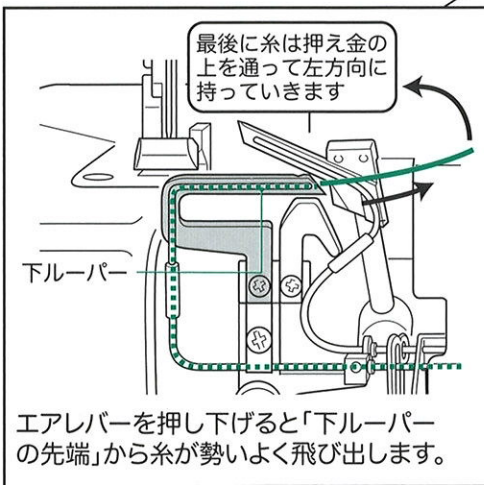
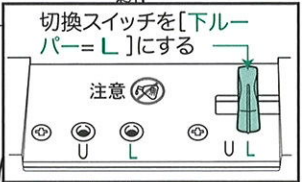
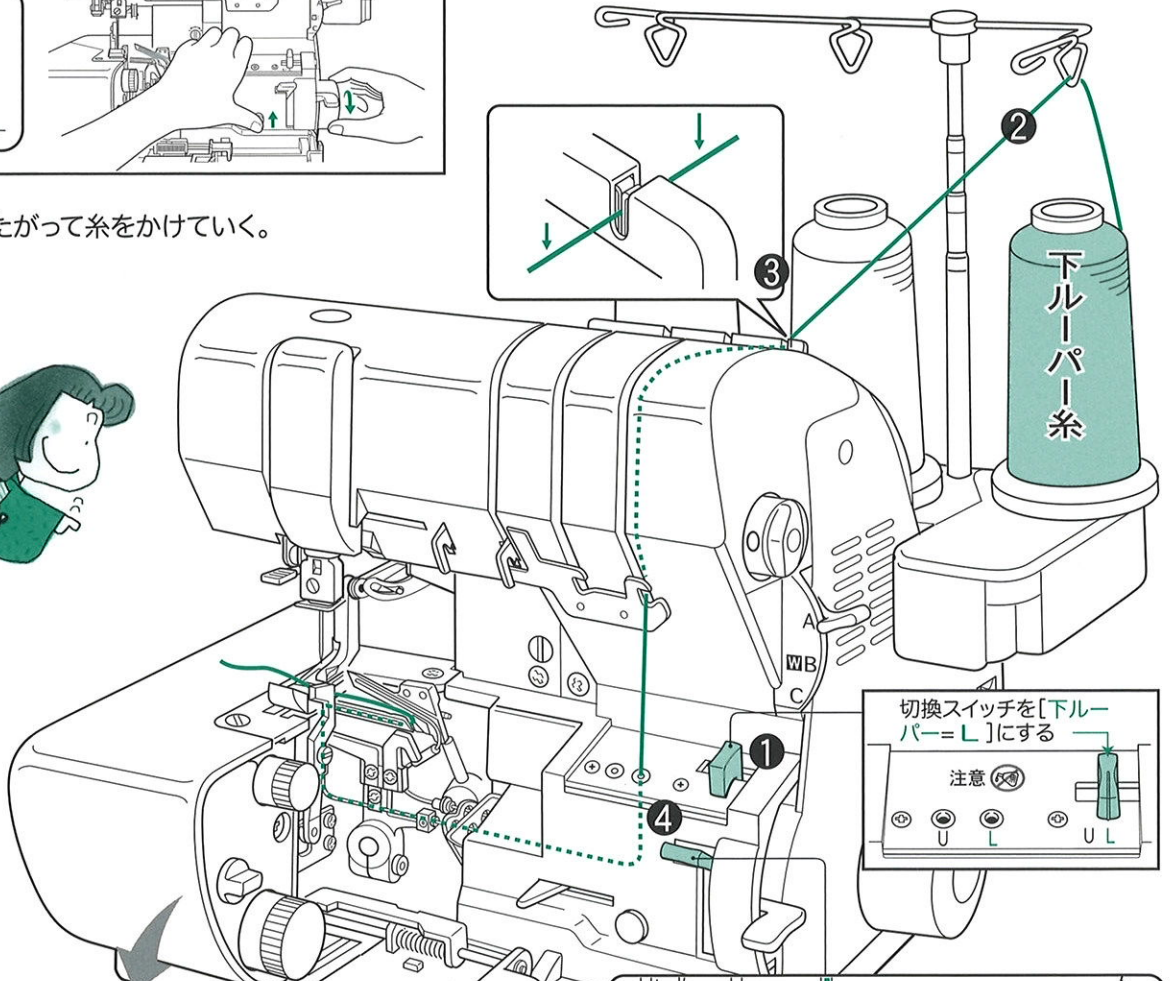


2 番号にしたがって糸をかけていく。



ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

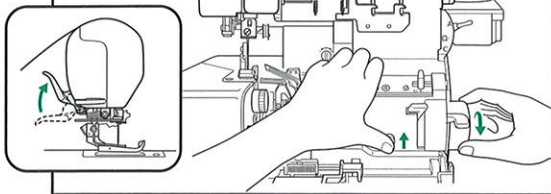


3 「固定の解除」(P14) をしてから縫い始める **重要**

上ルーパー糸



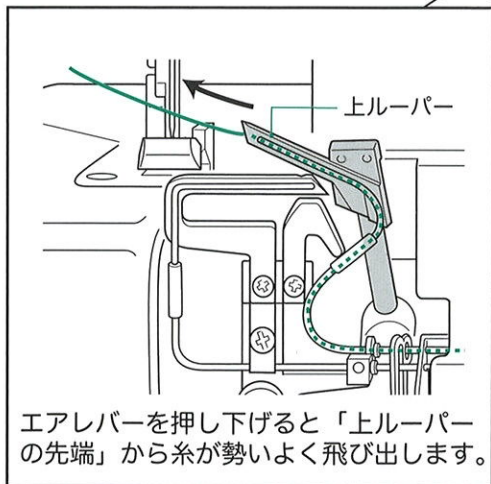
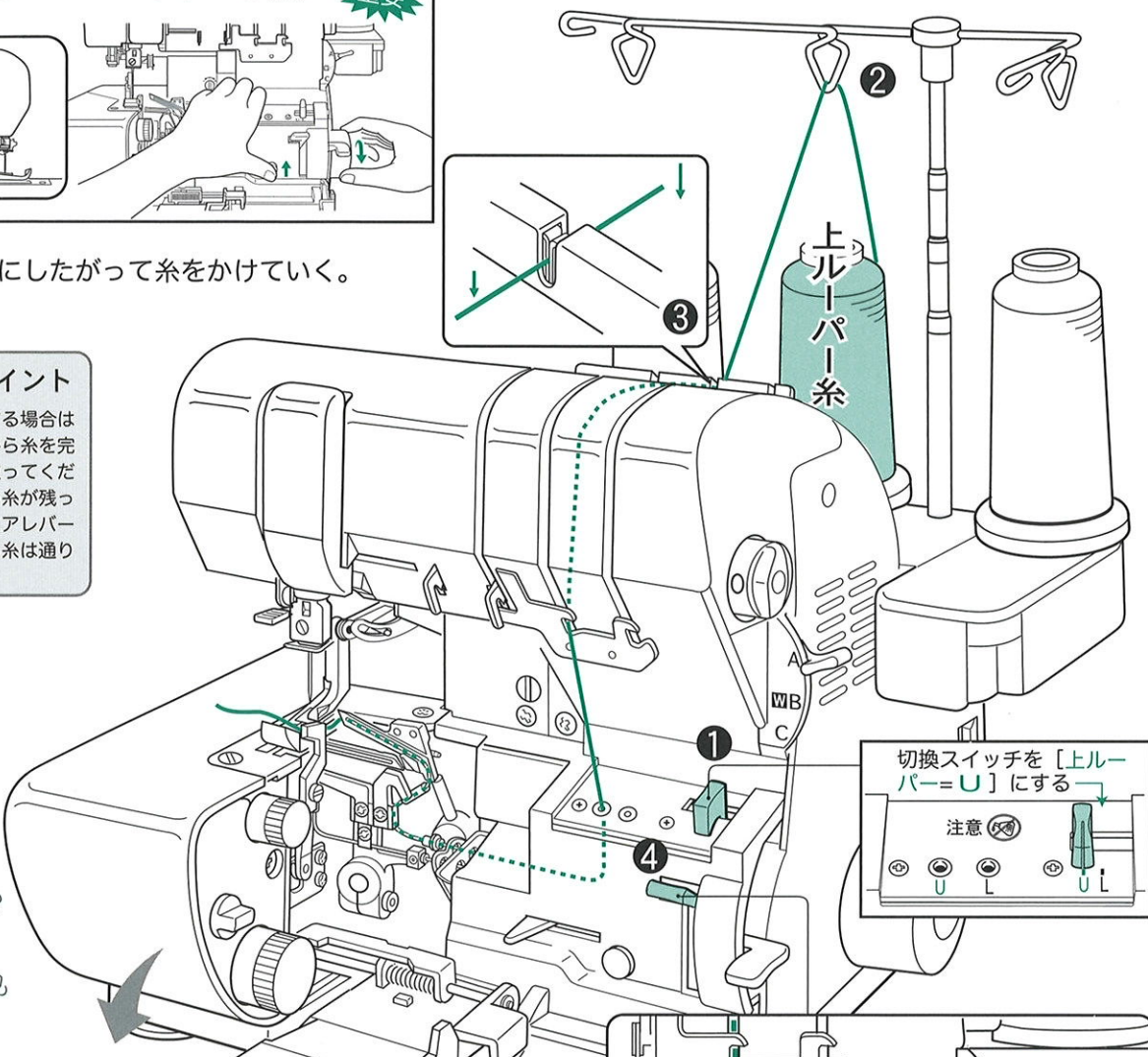
1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P14参照) **重要**



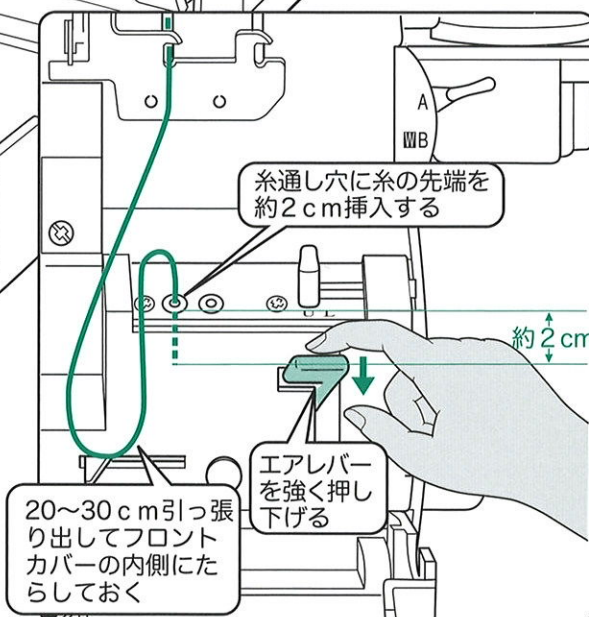
2 番号にしたがって糸をかけていく。

ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。



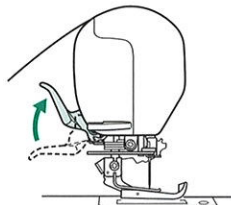
3 「固定の解除」(P14) をしてから縫い始める **重要**



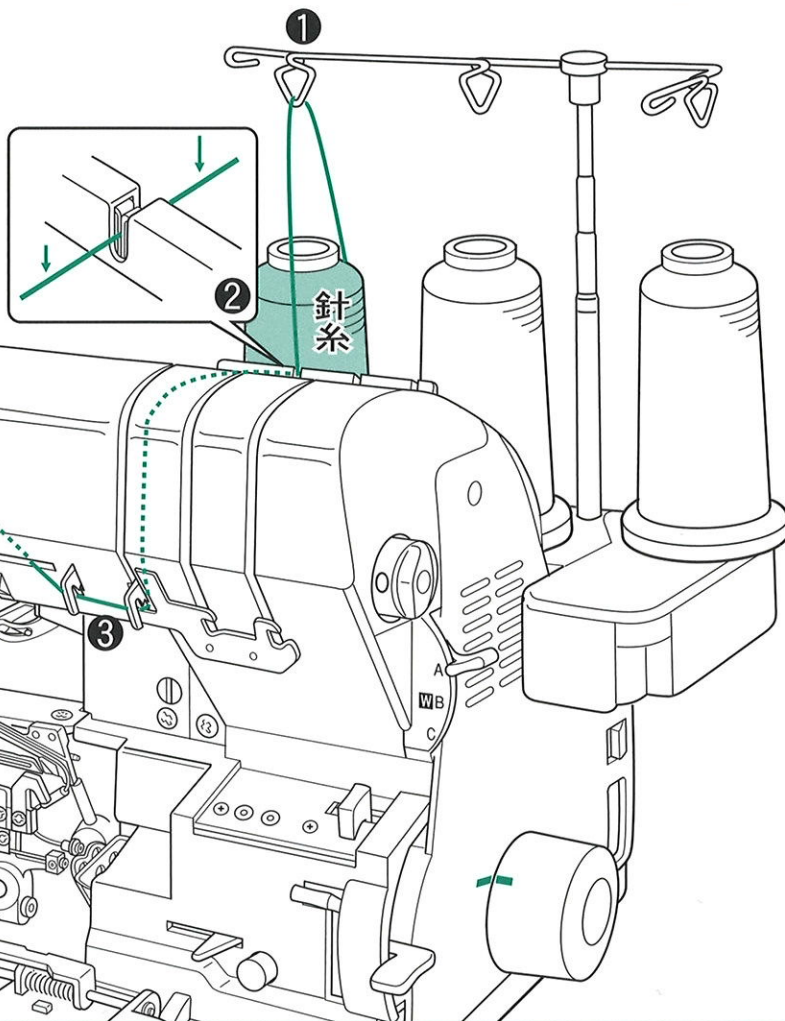
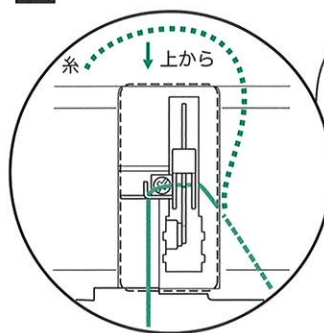
針糸



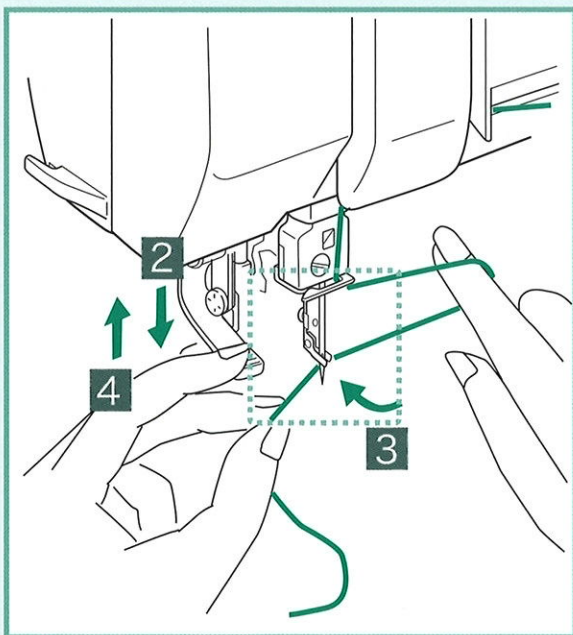
1 押え金を上げます。



2 番号にしたがって糸をかけていく。



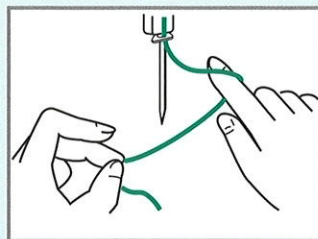
5 ラクスルー(自動針糸通し)の使い方



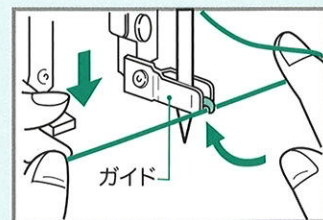
1 はずみ車に付いている「緑の指針」を合わせる



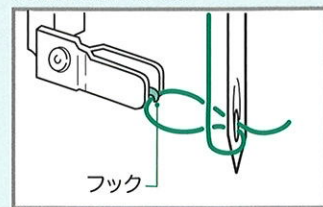
2 図のように両手で糸をつまむ



3 針糸通しレバーを下げ、ガイドに糸を引っかける



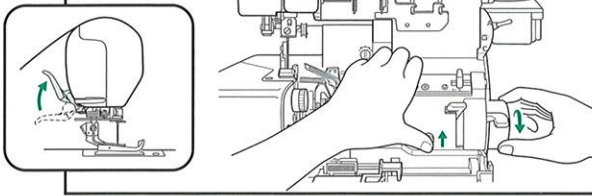
4 針糸通しレバーをゆっくりと上げるとフックが糸を引っかける



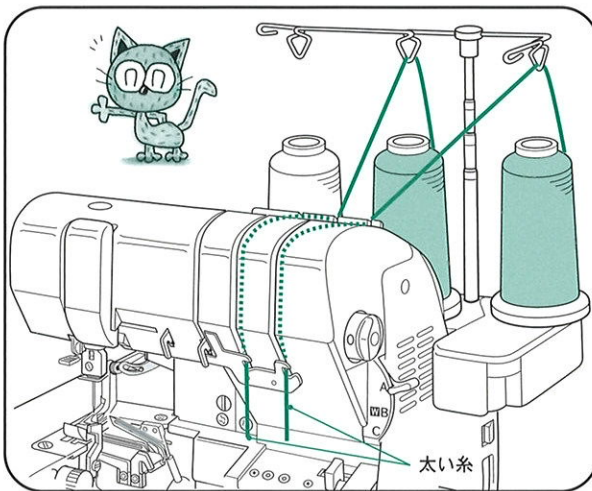
太い糸のかけ方

飾り糸として使われるような太い糸を、ルーパー糸として使用したい場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）に入らない場合があります。そのような時は下記のようにすれば使用できます。

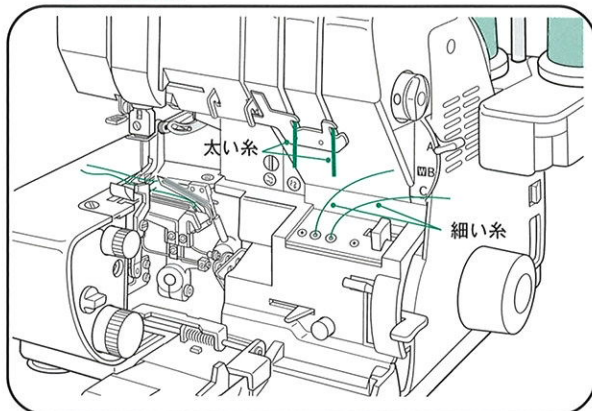
- 1** 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P14参照) **重要**



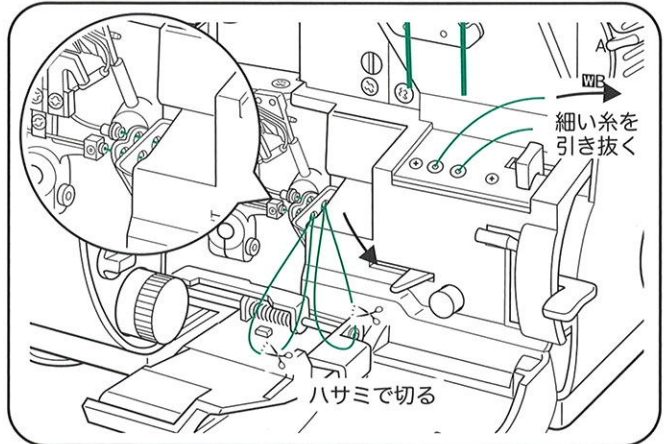
- 2** 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。(P15、16参照)



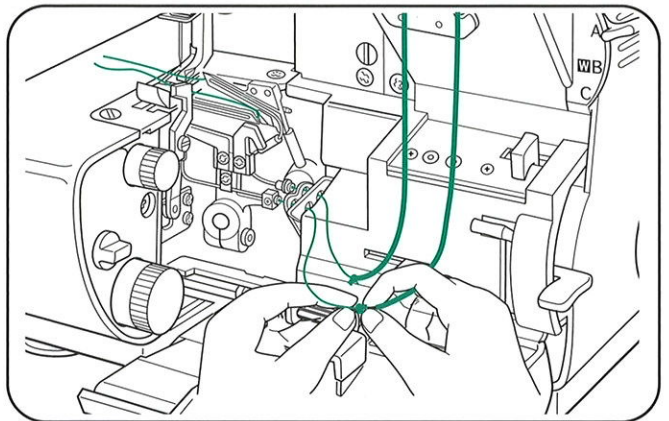
- 3** エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと (P15、16参照) 「固定の解除」を行う **重要** (P14参照)



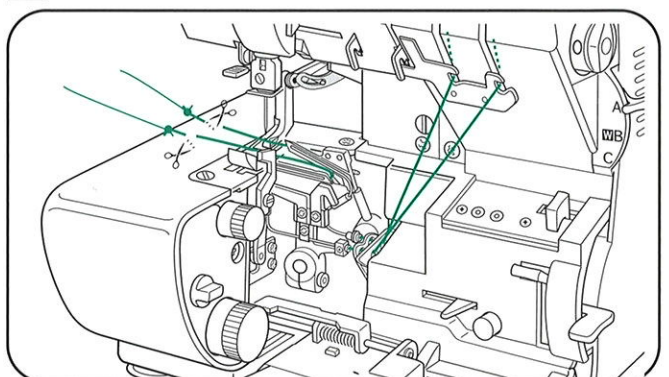
- 4** ピンセットで糸を引き出して切る。



- 5** 太い糸と細い糸を結ぶ。



- 6** 結び目を引き出して切る。



9 オーバーロック・巻きロックへの切換

このミシンは A. 1本針3本糸オーバーロック、B. 標準巻きロック、C. 変形巻きロックの3種類の基本縫いを、面倒な調節なしで簡単に切り替えることができます。

1 糸をかける (P13~18参照)

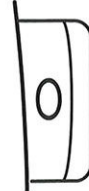
縫い目がきれいにできない場合は溝の間にある2枚の糸調子皿から糸がはずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えています。ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。押え上げレバーを上げ、この皿を開いてから、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで！

ポイント



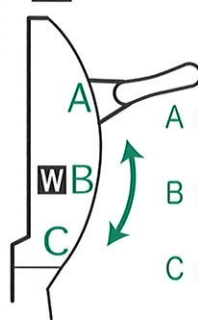
溝の間に2枚の糸調子皿があるよ！

2 オーバーロック/巻きウエーブロック切換ツマミ **重要**



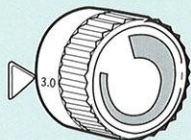
Oにあわせる

3 縫い目切換ダイヤル

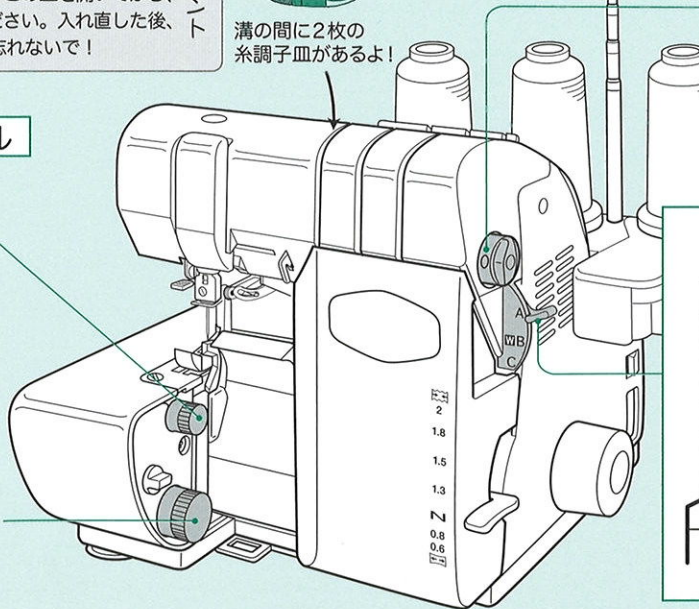


A: 1本針3本糸
ロック
B: 標準
巻きロック
C: 変形
巻きロック

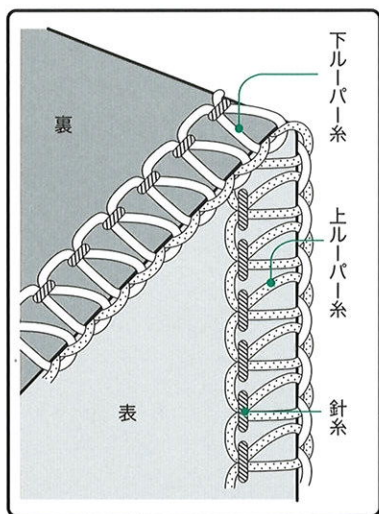
5 かがり幅ダイヤル



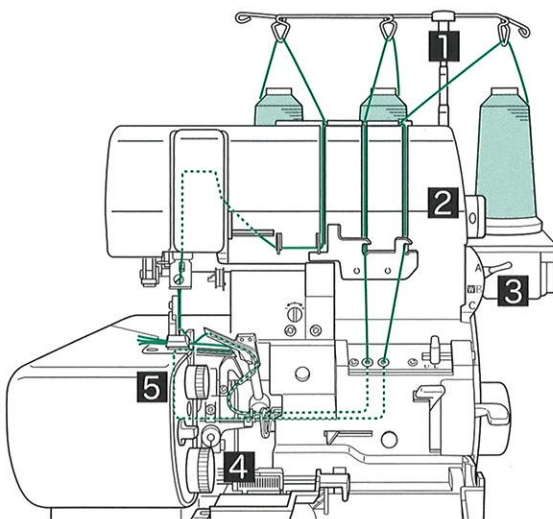
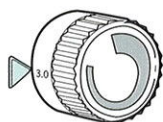
4 送り目ダイヤル



A オーバーロック



5 「かがり幅ダイヤル」を合わせる。
(生地の種類や好みによって)

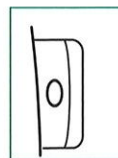


4 「送り目ダイヤル」を【普通ロック】の数字1~4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)



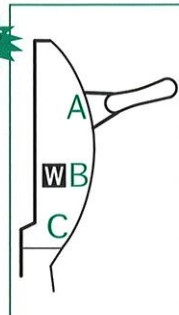
1 3本の糸をかける (P13~18参照)。

2 「オーバー/巻きウエーブ切換ツマミ」をOに合わせる。



3 「縫い目切換ダイヤル」をAに合わせる。

重要

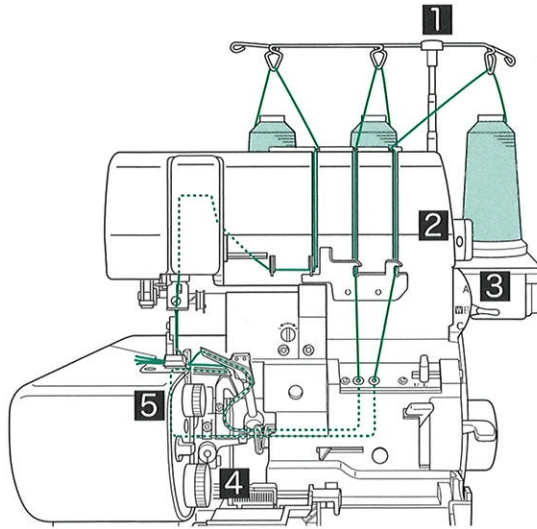
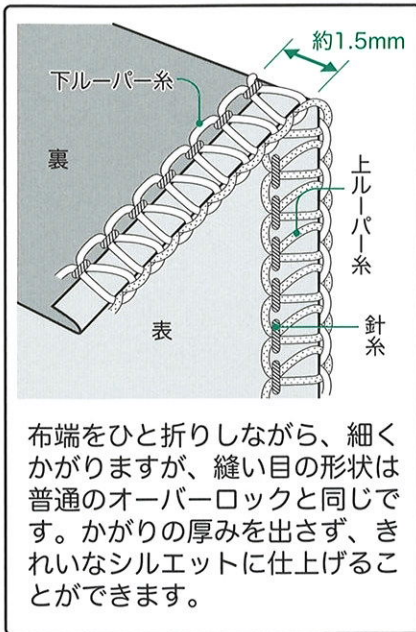


巻きロック

このミシンは、布端をひと折りしながら細くかがっていく【巻きロック】で縫うことができます。巻きロックには、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」があります。オーガンジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに最適です。

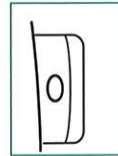


B 標準巻きロック

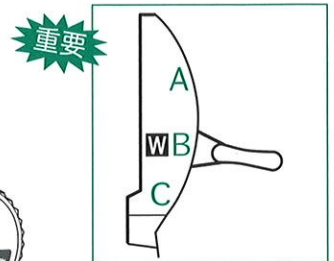


1 3本の糸をかける (P13~18参照)。

2 「オーバー／巻きウェーブ切替ツマミ」をOに合わせる。

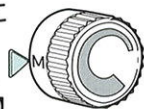


3 「縫い目切替ダイヤル」をBに合わせる。



5 「かがり幅ダイヤル」をMに合わせる。

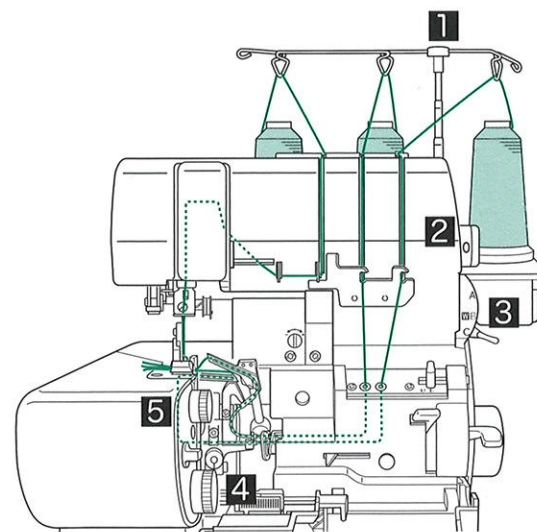
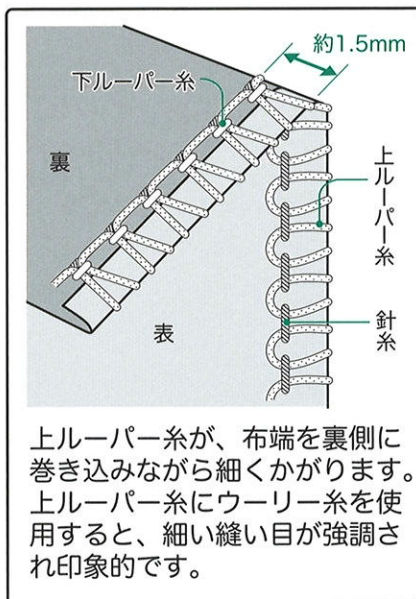
【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



4 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字1~4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)

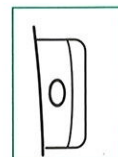


C 変形巻きロック

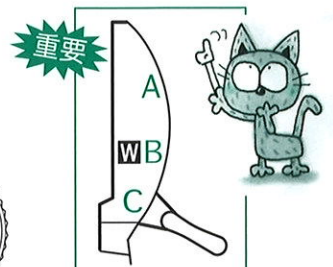


1 3本の糸をかける (P13~18参照)。

2 「オーバー／巻きウェーブ切替ツマミ」をOに合わせる。

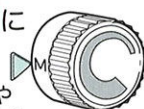


3 「縫い目切替ダイヤル」をCに合わせる。



5 「かがり幅ダイヤル」をMに合わせる。

【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



4 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字1~4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)



10 巻きウェーブブロックへの切換

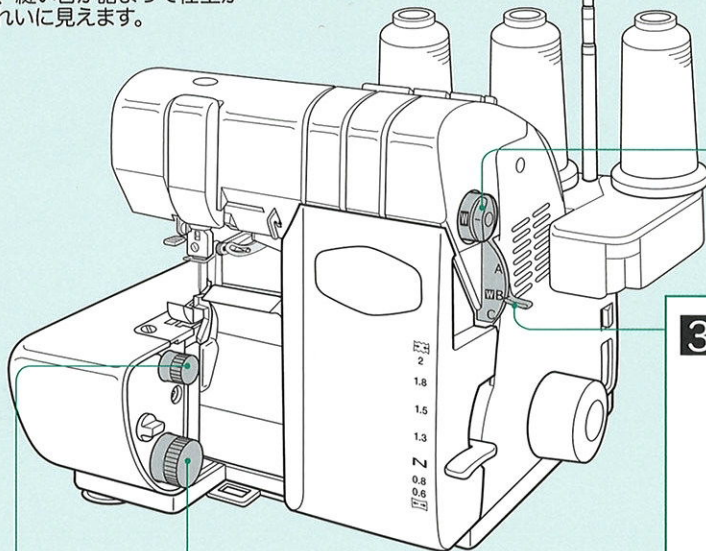
このミシンは縫い目が波状模様になる巻きウェーブブロック縫いができます。
巻きウェーブの切換は、「オーバー／巻きウェーブ切換ツマミ」を **W** にし、縫い目切換ダイヤルを **WB** 巻きウェーブブロックにします。

糸のかけ方や、かがり幅・送り目の変更の方法はオーバーロックと同じです。

1 糸をかける

(P13~18参照)

※上下ルーバー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。



2

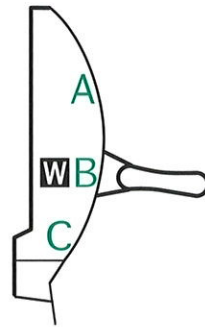
オーバーロック／巻きウェーブブロック切換ツマミ



重要

W にあわせる

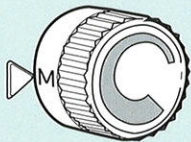
3 縫い目切換ダイヤル



WB: 巻きウェーブブロック

5

かがり幅ダイヤル



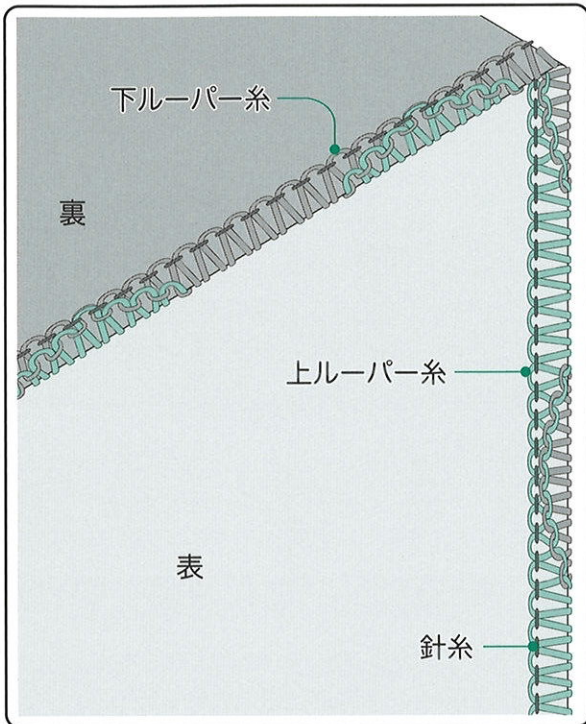
4

送り目ダイヤル





WB 巻きウェーブブロック



溝の間に2枚の糸調子皿があるよ!

ポイント

縫い目がきれいにできない場合は溝の間にある2枚の糸調子皿から糸がはずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えていますが、ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。押え上げレバーを上げ、この皿を開いてから、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで!

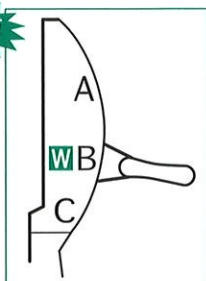
1 3本の糸をかける (P13~18参照)。

2 「オーバー／巻きウェーブ 切換ツマミ」を **W** に合わせる。

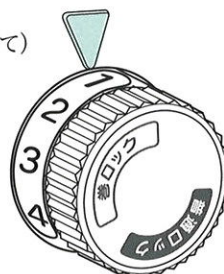


3 「縫い目切換ダイヤル」を **WB** に合わせる。

重要

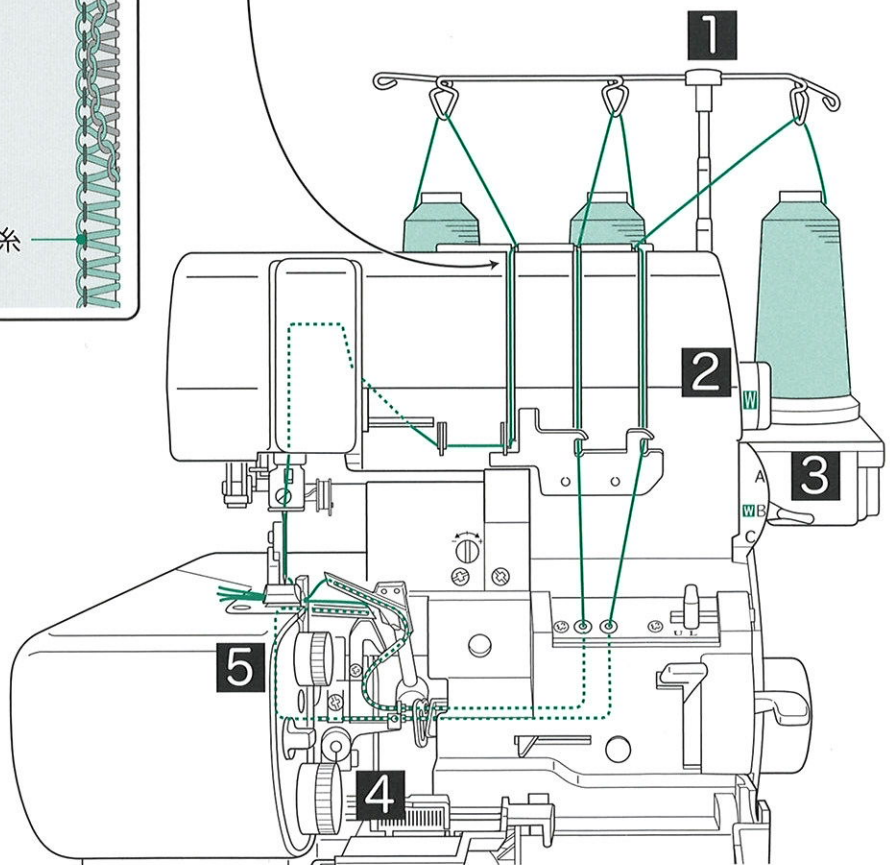
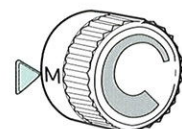


4 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字 **1~4** に合わせる。
(生地の種類や好みによって)



5 「かがり幅ダイヤル」を **M** に合わせる。

【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



11 メンテナンス

ルーパースレッダーの使い方

付属の『ルーパースレッダー』は“エアスルーシステム”のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として、使用すると便利です。



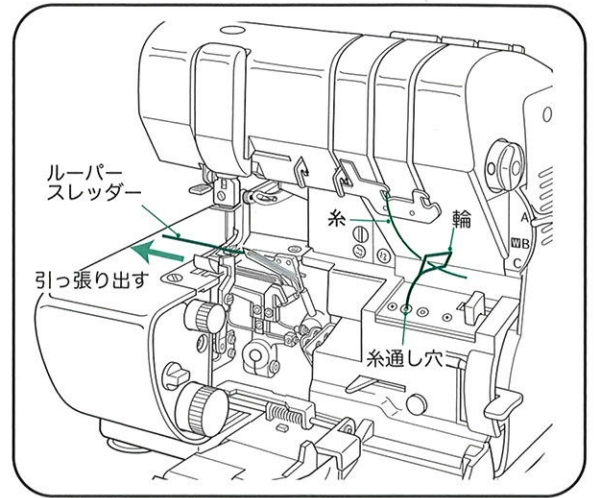
ルーパースレッダー

① 掃除具として

「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』を差し込み、ルーパースレッダーの先端から出てきたら引っ張り出します。パイプにたまった糸クズが取れます。

② 糸通し具として

『ルーパースレッダー』の輪に、通したい糸を数cm入れ、①と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパースレッダーの先端から引っ張り出します。



針の交換

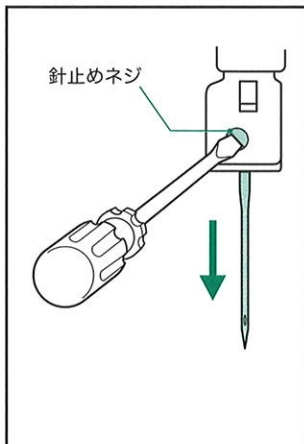
針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

このミシンの針は必ず **オルガンHA×1SP** をご使用ください。

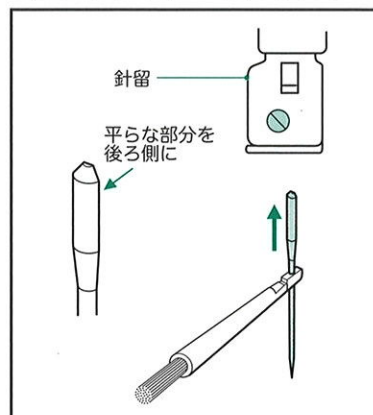
この針以外は使用できません。ただし、特に針どおりの悪い生地を縫う場合は「オルガンHA×1」の針の使用をおすすめします。

1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げます。

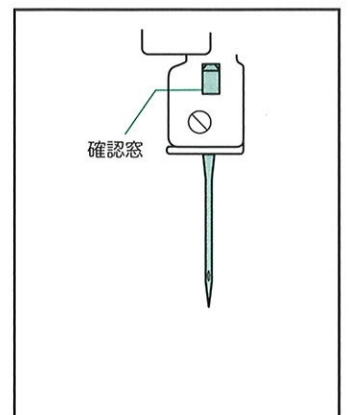
2 付属のドライバーで針止めネジをゆるめて、針をはずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。



4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。

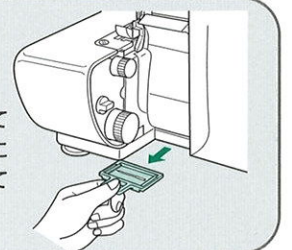


注意 ケガをする恐れがあります。

ルーパースレッダーを使用する場合や、針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ワンポイント

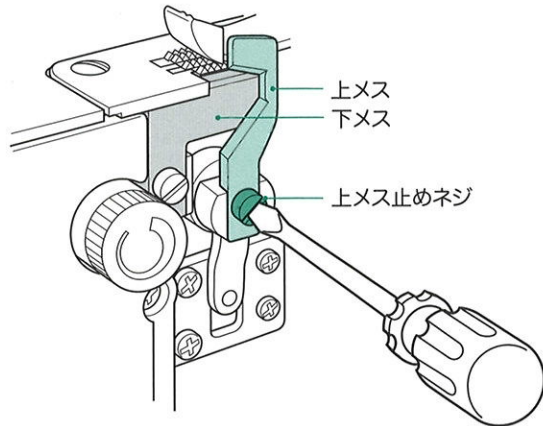
針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。





メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。



- 1 フロントカバーとメスカバーを開く。
- 2 はずみ車を回して、上メスを最下点にする。
- 3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずす。
- 4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。

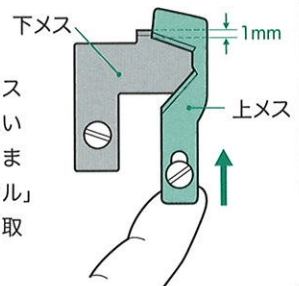


注意 ケガをする恐れがあります。

メスの交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ワンポイント

上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げた位置がだいたい1mm程度沈み込んだ位置になります。このとき、「かがり幅ダイヤル」の目盛りを最小位置にしておくこと取り付け作業が容易に行えます。



掃除と注油について

このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため切りクズがたまります。掃除機を使って埃を吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。

照明ライトの交換

■照明ライト■
100V15Wミシン球
※ミシン販売店および電器店にてお買い求めください。

照明ライトの交換は、別売りの「照明ライト交換具」を販売店でご購入いただき下記のように行ってください。



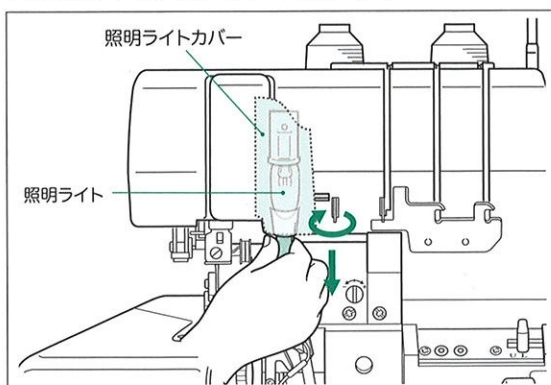
照明ライト交換具(別売り)



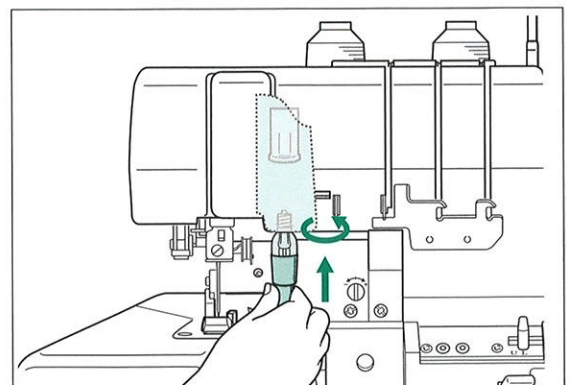
注意 ケガをする恐れがあります。

照明ライトの交換をする場合は、必ず電源を切ってください。通電したままだと感電したり、ミシンが急に動くなど危険です。

- 1 付属の「照明ライト交換具」を右図のように、照明ライトの付いているあたりに差し込み、回しながら照明ライトをはずす。



- 2 新しい照明ライトを「照明ライト交換具」に差し、ミシン本体に回して取り付ける。



12 修理を依頼される前に

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状 況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない！	<input type="checkbox"/> 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。……………	5
	<input type="checkbox"/> 照明ライトスイッチが [1] になっていますか。……………	5
	<input type="checkbox"/> はずみ車の「固定の解除」がされていますか。……………	14
まったく縫えない！	<input type="checkbox"/> 押え金下がっていますか。……………	14
オーバーロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／巻きウェーブ切替ツマミが [O] になっていますか。……………	19
	<input type="checkbox"/> 縫い目切替ダイヤルが [A] になっていますか。……………	19
	<input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [普通ロック] 側の数字になっていますか。……………	19
	<input type="checkbox"/> 糸調子皿から糸がはずれていませんか。……………	19
	<input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。……………	11
巻きロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／巻きウェーブ切替ツマミが [O] になっていますか。……………	19・20
	<input type="checkbox"/> 縫い目切替ダイヤルが [B] または [C] になっていますか。……………	20
	<input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [巻きロック] 側の数字になっていますか。……………	20
	<input type="checkbox"/> かがり幅ダイヤルが [M] になっていますか。……………	20
	<input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。……………	11
巻きウェーブブロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／巻きウェーブ切替ツマミが W になっていますか。……………	21・22
	<input type="checkbox"/> 縫い目切替ダイヤルが [W B] 巻きウェーブブロックになっていますか。……………	21・22
	<input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが巻きロック側になっていますか。……………	21・22
	<input type="checkbox"/> 糸調子皿から糸がはずれていませんか。……………	22
目とび、糸切れがする！	<input type="checkbox"/> 針は指定の [オルガンHA×1SP] がついていますか。……………	23
	<input type="checkbox"/> 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。……………	23
	<input type="checkbox"/> 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。……………	23
	<input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。……………	13～18
	<input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。……………	13～18
<input type="checkbox"/> 古い糸を使用していませんか。……………	6	
メスが布地を切らない！	<input type="checkbox"/> メスロックダイヤルが [LOCK (固定)] になっていませんか。……………	10
	<input type="checkbox"/> 上メスが磨耗していませんか。……………	24
エアレバーを押しても糸が通らない！	<input type="checkbox"/> 「はずみ車の固定」がされていますか。……………	14
	<input type="checkbox"/> ルーパー糸通し上下切替スイッチの位置は正しいですか。……………	15・16
	<input type="checkbox"/> 糸通し穴に糸が2cm位挿入されていますか。……………	15・16
	<input type="checkbox"/> 糸通し穴の手前で糸を20cmほどたるませていますか。……………	15・16
	<input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。……………	15～18
<input type="checkbox"/> パイプの中にゴミがたまっていませんか。……………	23	
ラクスルー(自動針糸通し)で糸が針穴に通らない！	<input type="checkbox"/> はずみ車の「緑の指針」が合っていますか。……………	17

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

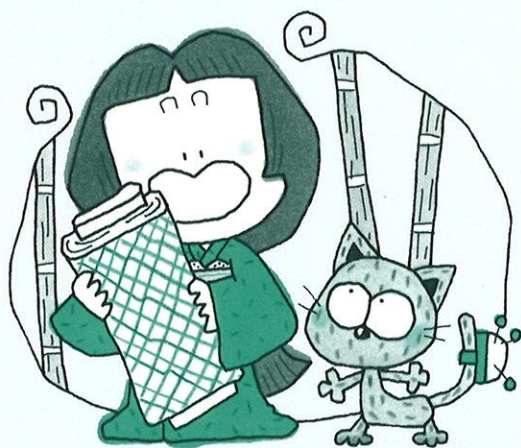
修理を依頼される前に



■仕様

- 縫い型式 : 1本針3本糸オーバーロック
1本針3本糸巻きウェーブロック
- かがり幅 : 1本針3本糸ロック3.0~5.0mm
巻きロック1.5mm (標準)
- 縫い目(送り目) : 1~4mm
- あこ~でおん比率 : 0.6~2.0
(差動比=伸ばし・縮みの比率)
- メス上下量 : 6.5mm
- 押え上がり量 : 5mm
- 送り歯高さ : 0.7mm (標準)
- 縫い速度 : 毎分1,500針 (常用)
- 使用針 : オルガンHA×1SP (#11, #14)
- 使用糸本数 : 3本
- 消費電力 : 120W (照明ライト含む)
- 照明ライト : 100V15W
- ミシンの大きさ : 奥行280mm 幅340mm 高さ290mm
- ミシンの重さ : 7.8kg (モーター付完成品)

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



baby lock

株式会社 **ジューキ** <http://www.babylock.co.jp>

本社/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

札幌 011 (737) 6821 仙台 022 (292) 3773 新潟 0250 (43) 4451
 東京 03 (3265) 8741 名古屋 052 (917) 3671 大阪 06 (6768) 3651
 倉敷 090(4806) 6214 広島 082 (227) 5781 福岡 0942 (44) 7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ _____
 お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL